

報道発表資料  
令和6年2月27日  
国立国会図書館

## 国際子ども図書館展示会「子どもの本の夜明け 帝国図書館展」 開催のお知らせ



国立国会図書館国際子ども図書館では、令和6年3月26日（火）から6月23日（日）までの期間、展示会「子どもの本の夜明け 帝国図書館展」を開催します。

国際子ども図書館のレンガ棟は、明治期に帝国図書館として建てられた建物を、リノベーションして活用しています。この展示会では、帝国図書館とその前身である東京図書館の時代に産声を上げた、日本の子どもの本のあゆみをたどります。あわせて、子どもの本の作者たちと帝国図書館とのエピソードについても紹介します。

【お問合せ先】 国立国会図書館 国際子ども図書館  
企画協力課 03-3827-2041（直通）

### 【展示会開催概要】

会 期	2024（令和6）年3月26日（火）～6月23日（日）
開館時間	9時30分～17時
休館日	月曜日、国民の祝日・休日（5月5日こどもの日は開館）、 毎月第3水曜日（資料整理休館日）
会 場	〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49 国立国会図書館国際子ども図書館 レンガ棟 3階 本のミュージアム
入 場 料	無料
ホームページ	<a href="https://www.kodomo.go.jp/event/exhibition/tenji2024-02.html">https://www.kodomo.go.jp/event/exhibition/tenji2024-02.html</a>

※報道に際して国立国会図書館国際子ども図書館の名称を表記する場合は、「国際子ども図書館」のように略さずに「国立国会図書館 国際子ども図書館」と表記していただくよう、お願い申し上げます。

【展示紹介】 ※以下に掲載している画像をご提供できます。掲載をご希望の場合はお問い合わせください。

### ◆近代日本の子どもの本のあゆみを紹介

明治維新から 20 年を経た 1880 年代、子どもを対象とした雑誌が複数誌創刊され、日本の子どもの本の興隆が見られました。大正期に入ると、芸術性の高い児童雑誌『赤い鳥』が創刊され、童心文学の土台となりました。また、戦前の昭和前期には、子どもの本でさえ戦意高揚の道具として利用されることになりました。その一方で、日本の児童文学における倫理小説の草分けと言われる『君たちはどう生きるか』が 1937 年に刊行されました。

国際子ども図書館の蔵書とともに、このような近代における日本の子どもの本のあゆみをたどります。



- |   |   |
|---|---|
| ① | 『こがね丸』(少年文学 才老) 巖谷小波 著, 大橋新太郎 編 博文館 1891        |
| ② | 『赤い鳥』4(6) 1920年6月号 赤い鳥社                         |
| ③ | 『アリス物語』(小学生全集 28) 菊池寛, 芥川竜之介 訳, 平沢文吉 絵 興文社 1927 |
| ④ | 『君たちはどう生きるか』(日本少国民文庫 4) 吉野源三郎 著, 脇田和 絵 新潮社 1949 |

### ◆子どもの本の作者と帝国図書館にまつわるエピソードを紹介

帝国図書館やその前身である東京図書館には、名立たる文学者が数多く訪れました。その中でも、夏目漱石、芥川龍之介、宮沢賢治など、児童向けの作品を残した文学者を中心に、当時のエピソードを紹介します。



▲1906(明治39)年に第一期竣工した帝国図書館(左)と帝国図書館の建物を保存・再利用した国際子ども図書館レンガ棟(右)

子どもの本の黎明期を生きた帝国図書館。その建物を引き継ぐ国際子ども図書館で、その魅力を、皆様に感じていただけますと幸いです。

### ◆展示会場を撮影できる

展示会会場の「本のミュージアム」は、帝国図書館時代、「普通閲覧室」として使用されていました。室内にも帝国図書館時代の趣が感じられる見どころがあります。普段は撮影不可としている「本のミュージアム」内を、展示会会期中は撮影することができます。

※一部撮影できない箇所があります。



#### ▲「本のミュージアム」の見どころ

左側の写真は、室内と書庫とをつなぐ出入口にある木製建具です。この木製建具は、エディキュールと呼ばれています。エディキュールは、「小さな神殿」を意味しています。

右側上の写真はエディキュールを挟むコリント式オーダーの柱の頭部にある漆喰装飾、右側下の写真は天井の漆喰装飾です。

いずれも、改修により、帝国図書館創建当時の姿に復元されました。なお、エディキュールの左側の扉からは、館内で唯一、レンガ棟建物の構造体に使われている100年以上前の赤レンガを見ることができます。

### 【関連イベント】

スタッフによるギャラリートーク（展示解説）を予定しています。詳細は国際子ども図書館ホームページ等で順次お知らせします。



国立国会図書館

国際子ども図書館

International Library of Children's Literature, National Diet Library

### 【ちらし画像】

※以下に掲載している画像をご提供できます。掲載をご希望の場合はお問い合わせください。

**展示会**

The Imperial Library and the Dawn of Japanese Children's Books

**子どもの本の夜明け**

**帝国図書館展**

2024  
3.26火-6.23日

【会 場】 国際子ども図書館  
レンガ棟3階本のミュージアム

【観覧時間】 9時30分～17時

【休 館 日】 毎週月曜日、国民の祝日・休日(子どもの日は開館)  
毎月第3水曜日(祝祭日除く)

**入場無料**

**展示会場撮影OK!**  
※一部の展示資料は撮影できません。

ILCL International Library of Children's Literature  
国立国会図書館 国際子ども図書館

上から「二がね点」(少年文学 李朝) 藤谷小波 著、大塚隆太郎 編 博文館 1987、「鳥い赤」4冊 1920年6月号  
森いしほ社、「アリス物語」(小学生全書第2巻) 藤沢武、和田豊之介 著、早稲田大学 叢書社 1927、「君たちはどう  
生きるか」(日本少年児童文庫) 宮城野二 著、島田和雄 訳 紀伊国屋 1949